

エコアクション21

環境経営レポート

(活動期間：2023年4月1日 ～2024年3月31日)

2023年度版



発行日：2024年7月19日

目次

1. 代表挨拶
2. 環境経営方針
3. 事業の概要
4. 環境目標（（環境経営目標・中期目標（環境経営計画））
5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
6. 代表者に寄る全体の評価見直し

1. 代表者挨拶

電陽社は創業以来、変化をいとわず自らが進むこと、新しい世代がやりがいと充実感を持って働ける環境を社内外に生み出すこと、地域に愛され必要とされる、地域とともに歩む企業であり続けることをモットーに、歩み続けてまいりました。

今では制御機器をはじめ、情報機器・電材・計測器コンピュータなどの商品のみならず、お客様の課題にお応えするシステムをご提案する体制を整えております。

北陸地域は様々な業種がバランスよく成長したすばらしい市場です。そんな北陸の企業としての特色を生かし、これからもお客様と地域社会の繁栄に貢献してまいります。

2. 環境経営方針

電陽社は、制御機器、電子機器、計測機器、情報処理機器、電力関連機器の専門商社です。良き企業市民として社会との共生に努め、地球環境保全活動への参加ならびに従業員の自主的な活動支援のためこの環境経営方針を定めます。

- (1) 環境関連法規制など、当社に適用可能な法的及びその他の要求事項を順守します。
- (2) 環境保全活動を推進する為、次のことに取り組みます。
 - ①電力・自動車燃費の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ②省資源推進の為に、3R（廃棄物の抑制、再利用、リサイクル）を徹底します
 - ③水資源の節水
 - ④環境配慮商品の積極的提案および販売を行います
- (3) 当社の環境経営方針は、継続的改善を誓約します。
- (4) 当社の環境経営方針は、全社員に周知し、広く一般に公開します。

2023 年 4 月 1 日

株式会社電陽社

代表取締役社長 青木 宏

3. 事業の概要

会社名及び代表者名

株式会社電陽社

代表取締役会長 東 達

代表取締役社長 青木 宏

所在地

本社 富山市奥井町17番38号

金沢支店 金沢市いなほ2丁目11番

業務センター 富山市窪新町11番11号

福井営業所 福井市和田東1丁目1001番地

メカトロニクスセンター富山市永楽町33番3号

環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 : 石葉 忠司

担当者 : 村椿 新一

連絡先 : TEL 076-432-7588 FAX 076-432-7793

事業活動

制御機器、電子機材機器の販売及びこれらに関連する制御装置の設計・製造

対象事業所

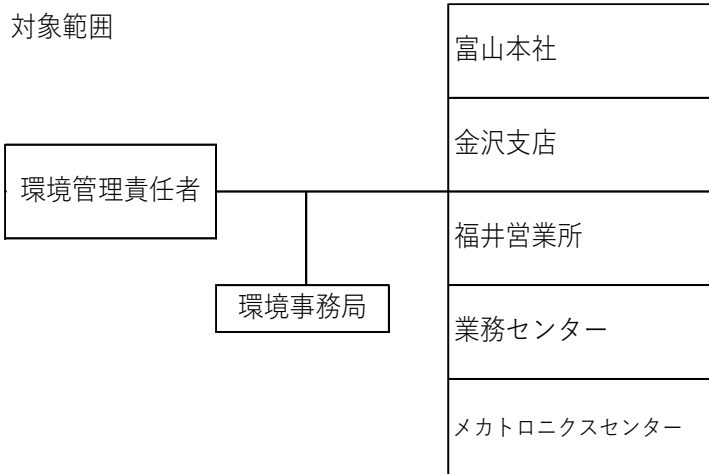
本社、金沢支店、福井営業所、業務センター、メカトロニクスセンター
(旧ワイディシステム 本社、金沢営業所、福井営業所)

事業の規模

設立：1956年4月5日

資本金：4000万円

* (株)電陽社とワイディシステム(株)は、2023年4月1日に合併しました
ワイディシステム(株)が所属していたサイトの変更はございません



役割・責任・権限

責任	役割・責任・権限
代表取締役会長（東 達） 代表取締役社長（青木宏）	・ 環境経営に関する総責任者 ・ 環境方針の作成・環境管理者の任命 ・ EA21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う ・ 環境保全に関する経営資源の提供
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築・運用 ・ 環境活動レポートの承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境計画の提言と進捗管理
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境活動レポートの作成、公開
社員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り積極的に環境活動へ参加する ・ 自部門における環境活動計画の実施 ・ 自部門の特定された記録の作成 ・ 自部門の必要とされる手順書の作成 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

4. 環境目標

項目		2021 年度 実績	2022 年度 実績	2023 年度目標 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月	2023 年度実績 2023 年 4 月～ 2024 年 3 月	目 標 達 成率	評 価
温室効果 ガス排出 量の削減	二酸化炭素 (Kg-CO2)	416712 Kg-CO2	392439 Kg-CO2	388514 Kg-CO2 1%削減	393892 Kg-CO2	98.6%	×
電力量の 削減	購入電力 (k w h)	412937kWh	379722kWh	375924kWh 1%削減	381144kWh	98.6%	×
社用車燃 費の削減	社用車の燃 費 (km/L)	14. 24km/L	14. 3km/L	14. 15km/L 1% 削減	14. 15KM/L	100%	○
水使用量 の削減	上水 (m³)	1443 m³	1252 m³	1239 m³ 1%削減	1560 m³	79%	×
廃棄物等 総廃棄量 の削減	一般廃棄物	12. 1 t	12. 6 t	12. 47 t 1%削減	8. 24 t	151%	○
	産業廃棄物	3. 8 t	1. 7 t	1. 68 t 1%削減	1. 11 t	151%	○
エコ商品 の拡販	販売台数 DYS	203 台	243 台	250 台	325 台	130%	○
	販売台数 YDS	4894 台	4381 台	4512 台	1987 台	44%	×

※電力の二酸化炭素排出量は北陸電力の年度別係数で計算しています

2021 年度 (0. 484) 2022 年度 (0. 499) 2023 年度 (0. 481)

※一般廃棄物と産業廃棄物の集計方法の見直しを実施

一般廃棄物：可燃ごみ、ダンボール、新聞、雑誌、上質紙、ペットボトル

産業廃棄物：廃プラスチック類、金属屑、廃電気機械器具

環境活動計画の内容及び取組

社用車の燃費	
1. ふんわりアクセル	○・・・継続
2. 加減速の少ない運転	○・・・継続
3. 早めのアクセルオフ	○・・・継続
4. エアコンの使用を控えめに	△・・・無理はしない
5. アイドリングストップ	○・・・継続
6. 暖機運転は適切に	△・・・長時間は注意
7. 道路交通情報の活用	△・・・意識していない
8. タイヤの空気圧をこまめにチェック	○・・・自主点検実施

9. 不要な荷物は積まずに走行	〇・・・自主点検実施
10. 駐車場所に注意	〇・・・継続
電力水使用量	
1) 蛍光灯	
・ unnecessary 場所の LED を消す。(フロア内、廊下、トイレ、等)	〇・・・継続
・ LED が切れている場合は、速やかに交換する。	〇・・・継続
2) エアコン	
・ unnecessary 部屋のエアコンを消す。	〇・・・継続
・ 設定温度は冷房 27 度以上、暖房時 23 度以下とする。	△・・・許容範囲で
・ 急激な電気使用を防ぐため、朝、一度に全部のエアコンの電源を入れない。	〇・継続
・ 定期的にエアフィルターの掃除をする。	〇・・・3 カ月毎
3) パソコン	
・ 長時間使用していないパソコン/モニターの電源を OFF にする。	△・・・一部不適
・ 外出時はパソコン/モニターの電源を切る。	△・・・一部不適
・ 使用していないプリンターの電源を OFF にする(待機状態でも可。長期間使用しない場合は電源 OFF。)	△・・・一部不適
4) OA・設備機器	
・ 使用しないときは、シュレッダーの電源を OFF にする(待機状態でも可)。	〇・継続
・ 不要時、電気ポットの電源を OFF にする。	〇・・・継続
・ 電子レンジなど使わない機器の電源を OFF にする。	〇・・・継続
5) 換気扇	
・ unnecessary 場所の換気扇の電源を OFF にする。	〇・・・24H 換気外
6) エレベーター	
・ 健康の為にエレベーターの利用を控え、階段を使用する。	△・・・一部不適
7) 水道水	
・ 台所及びトイレの節水行動	△・・・一部不適
廃棄物の削減及び再利用の促進	
・ フォークキャスト管理の徹底	〇・・・継続
・ 市場動向の把握	△・・・意識不足
・ 在庫保管管理の徹底	△・・・過剰気味
・ カタログのリサイクル	〇・・・継続
・ ダンボール箱/緩衝材再利用	〇・・・継続
・ コピー用紙/封筒の再利用	〇・・・継続
省エネ・省電力・環境配慮型商品の提案/販売	〇・・・継続

<評価>〇は継続、△は変更可能な場合は実施。但し、健康に影響を及ぼす場合無理は禁物。

*2024 年度の環境経営計画の内容及び取組については継続する。

環境目標・中期目標(環境経営計画)										2024年度										確 認	作 成
										作成日 2024年5月10日										石葉	委員会

目的	責任者	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	スケジュール(月)												
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
温室効果ガス排出量の削減) 416712kg(2021年度) 392439kg(2022年度) 393892kg(2023年度)	福田	2023年度実績1%削減 (実績393892Kg) 目標389953Kg—CO2	2024年度実績1%削減 目標386053Kg—CO2	2025年度実績1%削減 目標382192Kg—CO2	→											→	
					実態調査・進め方の検討・手順書の作成											見直し	
					実施・データ取り											→	
電力量の削減 412937kWh(2021年度) 379722kWh(2022年度) 381144kWh(2023年度)	福田	2023年度実績1%削減 (実績381144kwh) 目標377332kWh	2024年度実績1%削減 目標373558kWh	2025年度実績1%削減 目標369822kWh	→											→	
					実態調査・進め方の検討・手順書の作成											見直し	
					実施・データ取り											→	
社用車燃費の削減 14.24km/L(2021年度) 14.30km/L(2022年度) 14.15km/L(2023年度)	村椿	2023年度実績1%削減 (実績14.15km/L) 目標14.29km/L	2024年度実績1%削減 目標14.43km/L	2025年度実績1%削減 目標14.57km/L	→											→	
					実態調査・進め方の検討・手順書の作成											見直し	
					実施・データ取り											→	
水使用量の削減 1443m³(2021年度) 1252m³(2022年度) 1560m³(2023年度)	福田	2023年度実績1%削減 (実績1560m³) 目標1544m³	2024年度実績1%削減 目標1528m³	2025年度実績1%削減 目標1512m³	→											→	
					実態調査・進め方の検討・手順書の作成											見直し	
					実施・データ取り											→	
廃棄物等総廃棄量の削減 一般12.1t産廃3.8t(2021年度) 一般12.6t産廃1.7t(2022年度) 一般8.24t産廃1.11t(2023年度)	西野	2023年度実績1%削減 (実績一般8.24/産業1.11t) 目標一般8.15t 産業1.1t	2024年度実績1%削減 目標一般8.09t 産業1.09t	2025年度実績1%削減 目標一般8.01t 産業1.08t	→											→	
					実態調査・進め方の検討・手順書の作成											見直し	
					実施・データ取り											→	
エコ商品の拡販 商品O203台商品Y4894台(2021年度) 商品O243台商品Y4381台(2022年度) 商品O325台商品Y1987台(2023年度)	金谷 上田	2023年度販売台数3%UP (実績商品O325台/商品Y1987台) 目標 商品OS335台/商品Y2046台	2024年度販売台数3%UP 目標 商品OS345台/商品Y2107台	2025年度販売台数3%UP 目標 商品OS355台/商品Y2170台	→											→	
					実態調査・進め方の検討・手順書の作成											見直し	
					実施・データ取り											→	

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況

適用環境法規	遵守評価
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	遵守しております
フロン排出抑制法	遵守しております
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守しております
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	遵守しております
消防法	遵守しております
家電リサイクル法	遵守しております
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	遵守しております

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024 年 3 月の環境関連法規遵守状況の確認において環境関連法規への違法はありません。

また、関係当局よりの違反などの指摘は過去 3 年間ありません。

外部からの環境に関する苦情や、要望はありませんでした。

照合先

環境関連法 ： 環境省 HP のデータベース <http://www.env.go.jp/index.html>

6. 【代表者に寄る全体の評価見直し】

【代表者に寄る全体の評価見直し】							
代表者による評価・見直しの記録						承認	作成
見直し実施者	代表取締役 青木宏					青木	石葉
見直し実施日	2024年7月10日						
確認・評価した資料							
文書		確認	記録				確認
環境方針		✓	環境への負荷の自己チェック				✓
環境目標		✓	環境への取組の自己チェック				✓
環境活動計画		✓	環境関連法規制等の順守状況確認				✓
環境関連法規等のまとめ		✓	外部からの苦情・情報の記録				✓
実施体制		✓	環境上の緊急事態の訓練記録				✓
緊急事態対応手順		✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果				✓
環境経営レポート		✓	不適合是正・予防処置報告書				✓
取組状況全体の評価							
システムが有効に運用されているか(要求事項を満足しているか)						適	不適
取組が適切に行われているか						適	不適
見直しの必要性							
環境方針		あり	なし	実施体制		あり	なし
環境目標		あり	なし	その他		あり	なし
環境活動計画		あり	なし				
総括							
2023年度4月に合併を実施したことで、エコアクションもさらに統一され、周知徹底がしやすくなったと思います。							
但し、合併後も色々な問題が発生し、エコアクションへの取組状態については若干の懸念も抱いています。							
それはエコアクション以外でも事務局やマネージャー中心で運営されることが多く、エコアクションもご多分に漏れません。							
その為には全員で実施できる新たな取組を模索していくことが必要だと考えます。							
昨年度から工事をしていた金沢支店の太陽光発電も6月から稼働します。今後ともカーボンニュートラルへの投資を促進し、将来的には事業化出来ることを期待しています。今回の環境目標の結果については、季節要因や集計のタイミングもあり達成・未達成とありますが、							
経営としては継続することが重要と考えています。前回の審査の推奨・改善については進捗があったことを確認しました。							
内部監査については、本社5Fの書類について、適切な保管場所への移動を指示しました。							
今後もエコアクション21を事業戦略やコミュニケーションの一つとして捉え、頑張って頂きたいと思っています。							